

関西福祉大学の学生が空き店舗利用など地域の課題解決のための活動を実施

< 兵庫県 >

市町村・集落の名称	赤穂市
協働の相手（企業や大学等）の名称	関西福祉大学
仲介者・コーディネーターの名称	関西福祉大学教授 溝端 剛
協働のポイント	学生と地元住民との交流により、農業・商業についての課題解決策を実際に地域住民と一緒に活動することで模索する。
協働のきっかけ・経緯	ゼミにおいて、コミュニティアワー活動の一環として「地産地消」というツールを使った中心市街地活性化事業と生産高齢農家支援活動を実施。
取組の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗を利用した直売活動の実施 ・ 農村部における収穫祭等の交流イベントへの参加 ・ 地産地消直売活動への支援 ・ 高齢農家への支援 ・ ブランド農産物開発に向けた検討
農村地域への効果	若い学生が活動することで地域活性化が図られるとともに直売活動の促進が図られている。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	農業をはじめ地域が抱える社会問題への関心が高まる。学生にとっても実際に体験することで社会性が身につく。
仲介者等の役割	行政、地元との調整
今後の課題	現在は、現場での農作業や直売活動が中心で住民も感謝しているところであるが、今後大学としてレポート発表やシステム構築などに繋がるような連携ができるかが課題である。
関連事業（国・都道府県等）	なし

(活動状況写真等)

